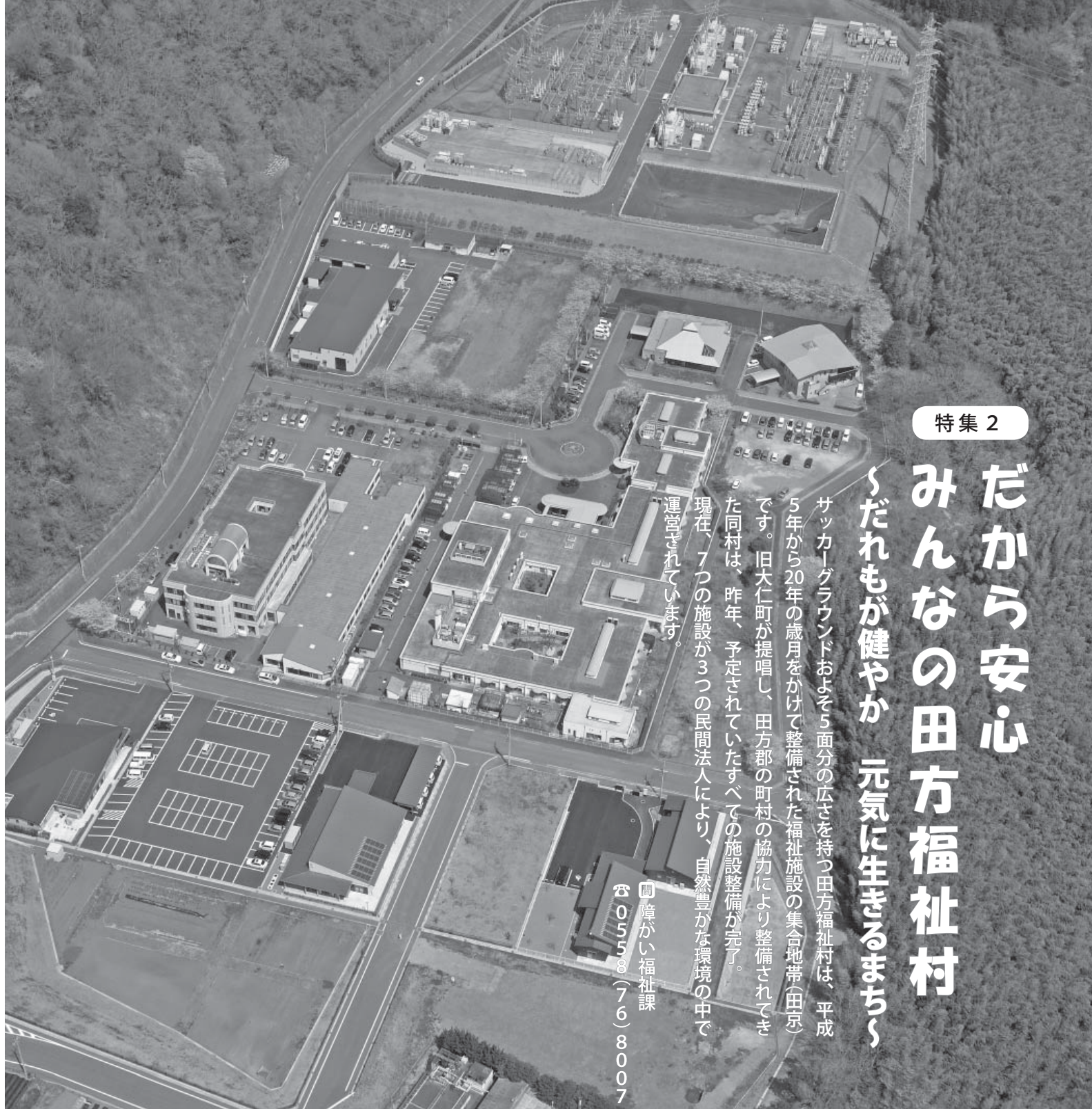




特集 2

だから安心 みんなの田方福祉村

サッカーグラウンドおよそ5面分の広さを持つ田方福祉村は、平成5年から20年の歳月をかけて整備された福祉施設の集合地帯(田京)です。旧大仁町が提唱し、田方郡の町村の協力により整備されてきた同村は、昨年、予定されていたすべての施設整備が完了。現在、7つの施設が3つの民間法人により、自然豊かな環境の中で運営されています。

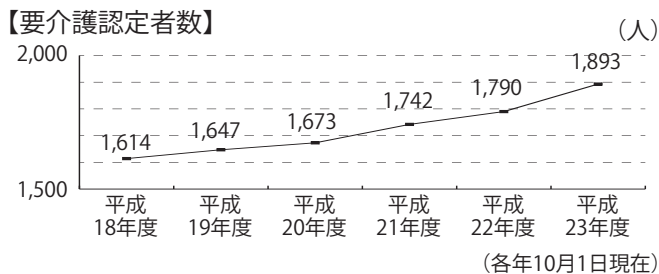
障がい福祉課
☎0558(76)8007



民生委員・児童委員協議会長
菊池孝之さん

民生委員として、介護者がいる家族に接すると、介護する人たちの“介護疲れ”をよく耳にします。私が就任した12年前とは時代が変わり、地域行事の減少とともに地域の絆も弱まり、地域で地域を支える体制も薄れてきています。

田方福祉村は、介護や支援を目的とした施設だけではなく、高齢者や障がい者に大切な“生きがい”や“やすらぎ”を与えてくれる施設も存在します。ショートステイやデイサービスはもちろんですが、介護に疲れたら、福祉のことでわからないことがあったら、気軽に相談できる場所がある。それは伊豆の国市に住む私たちにとって心の安心どころ。これほどの施設が一カ所に集まっている田方福祉村は、伊豆の国市の誇れる施設の一つでもあります。



【身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移】 (人)

	平成15年度	平成17年度	平成19年度	平成21年度	平成23年度
人口総数	50,671	50,624	50,586	50,586	50,255
身体障害者手帳所持者数	1,633	1,689	1,663	1,675	1,661
人口総数に対する比率	3.22%	3.34%	3.29%	3.31%	3.31%
療育手帳所持者数	212	239	235	256	261
人口総数に対する比率	0.42%	0.47%	0.46%	0.51%	0.52%
精神障害者保健福祉手帳所持者数	101	126	144	141	157
人口総数に対する比率	0.20%	0.25%	0.28%	0.28%	0.31%
障がい者総数	1,946	2,054	2,042	2,072	2,079
人口総数に対する比率	3.84%	4.06%	4.04%	4.10%	4.14%

(各年4月1日現在)

転機となった障害者

自立支援法の施行

利用者本位の

サービス提供体制の確立

平成18年4月に障害者自立支援法が施行され、制度の抜本的な改革が行われました。障がい者が地域で安心して暮らし、自立と共生ができる社会環境の整備理念を受け、福祉村の整備事業は第2期へと移ります。

同法により、障がい者を支援する体系が大きく変わります。障がいの程度により支援の方法などが細分化され、一日を通して支援を受ける場合、住まいの場と日中活動の場を分けて生活しなくてはなりません。そこで、関連した施設の相互利用が効率よくできる基盤整備が必要となり、第2期福祉村計画では障がい福祉サービスの一層の充実を図りました。

また、障がいの種別や程度により異なるサポートが必要になることから、それらに対応するさまざまな施設の整備が必要とされます。

障がい者やその家族は、将来への不安を抱えている場合も少なくありません。その不安を少しでも解消させるた

個性を尊重し、

共に生きる

働く場所と集える住まい

本格的な高齢化社会の到来に伴う多くの課題に対処し、連携のとれた保健・福祉サービスの提供体制を確立するため、社会福祉事業の発信地として、平成4年に田方福祉村構想が打ち出されました。

当時の高齢化率は※13・4%、現在のおよそ半分です。高齢化社会が拡大するなか、核家族化や男女共同社会の進展などにより家庭の介護力が低下するなど、高齢者を取り巻く環境は、大きく変わりつつありました。

このような状況下において、高齢者の自立を支援し社会全体で支えるという、連携のとれた地域福祉サービスの提供体制を目指す『田方福祉村』構想が進められました。

また、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの人格を尊重し、共に暮らし、地域に住むすべての人が心身ともに豊かな生活を送れる社会を目指し、障がい福祉サービスとの連携のとれた福祉施設整備の充実も図られました。

※平成3年大仁町の高齢化率

めのサポート施設。これらが一堂に集まり、相互に関連の深い福祉施設の集合地帯である『田方福祉村』は、私たち市民にとって誇れる施設です。

沿革

- 平成5年 田方福祉村整備事業着手
 - 第1期福祉村
- 平成6年5月 安寧の郷 開設
- 平成7年4月 ぬくもりの里 開設
- 平成9年4月 あおばの家 開設
- 平成14年2月 田方・ゆめワーク 開設
 - 第2期福祉村
- 平成23年4月 もくせい苑 移転により開設
- 平成24年4月 新あおばの家 現在の施設へ移転
- 平成24年4月 なぎの家 開設
- 平成24年5月 サポートセンター絆 開設
- (旧あおばの家の施設を利用)

平成24年 田方福祉村整備事業完成

伊豆の国市以外の人も利用できるの？



田方福祉村ってことは、伊豆の国市以外の人でも利用することってできるの？
母が隣町に住んでいるんだけど…

⇒田方福祉村は平成4年、旧大仁町が提唱した田方福祉村構想に、当時の田方郡の町村の協力により整備を進めてきました。
伊豆の国市単独の助成により整備されたものもあり、市民や市外の人が利用できる条件などは、施設により異なります。

田方福祉村のことをもっと詳しく知りたい

⇒田方福祉村についてわからないことがあれば、『市役所障がい福祉課』へご連絡ください。（大仁庁舎 ☎0558-76-8007）

※内容により各係へおつなぎします。
また、各施設を紹介した『ようこそ田方福祉村』のパンフレットも用意してあります。希望者は市役所窓口へ。

田方福祉村にある施設の対象者や入所条件、定員などもっと詳しく知りたいんだけど、どこへ連絡したらいいの？
何か資料はないかな？



私たちにも何かできることはありますか？



介護が必要な人や障がいを持つ人たちに、私たちでも何かできることはありますか？少しでも彼らの力になればと思っていますが、どうしたらいいかわからないんですけど…

⇒田方福祉村内にある施設によっては、サポートしてくれるボランティアを募集しているところもあります。また、市内には44の福祉ボランティア団体があります。自分のできる範囲で活動してみたいかがでしょうか。
▶田方福祉村へのボランティア希望者は、直接施設へお問い合わせください。
▶福祉ボランティアへの問合せは社会福祉協議会（☎055-949-5818）へ。

田方福祉村は、今がスタートライン！！

すべての施設が開設し、1年が経とうとしています。
それぞれの施設が着実に歩み始め、村の住人である各施設が営みを始めました。
村として機能するのは、まさにこれからです。
ますます多様化する福祉ニーズに柔軟に対応するため、より一層連携を深め、
そして、市民にとってより身近な村として地域に根ざした“地域のための福祉村”として機能するため、
田方福祉村は、これから新たなスタートをきります。

特集2 「だから安心 みんなの田方福祉村」 終わり

生活機能の向上を目指すリハビリテーション施設 介護老人保健施設 安寧の郷 ☎ 0558-76-8100

医師による医学的な管理のもと、看護・介護といったケアはもとより、リハビリや食事、入浴などの日常サービスも提供しています。夜間でも安心して利用できる施設です。



一人ひとりに合ったリハビリを提供しています。
理学療法士
谷川さん



暮らしに寄り添う生活支援の場 相談支援事業所 サポートセンターゆめワーク 就労支援事業所 田方・ゆめワーク ☎ 0558-75-5600

主に精神障がい者のための通所型施設です。相談支援を中心に、憩いの場や就労体験の場を提供し、誰もが地域で安心して暮らせるようサポートします。



安価でおいしいと評判のパンは、市内イベントなどで販売します。
精神保健福祉士 高田さん



“いきがい”を提供する楽しい仕事場 就労継続支援 B 型事業所 もくせい苑 ☎ 0558-76-6755

主に知的・身体障がいを持つ人が、通所により生産活動を中心に行う就労支援施設です。一人ひとりの個性を尊重し、健康の維持、体力の増強に努めます。



一つひとつ手作りの小物は人気の逸品。市役所や市内イベントなどで販売しています。



快適に暮らすことができる安心の住まい 共同生活介護（ケアホーム） なぎの家 ☎ 0558-77-1017

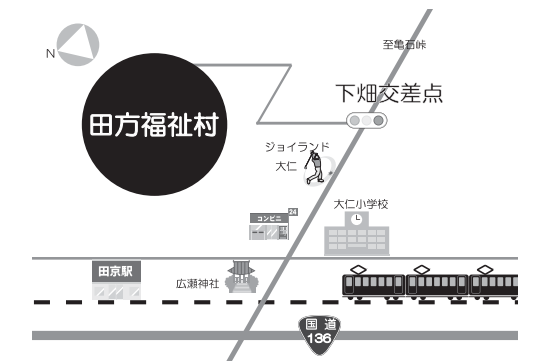
日中活動を行う障がいを持つ人の夜間・休日の支援を行っています。ケアホーム全体が障がい者に優しい設計になっており、職員も24時間常駐しているので安心して暮らせます。



開放感ある共有スペースはみんなの憩いの場。※女性棟は空き部屋あり。体験入居可。

田方福祉村の村民紹介

村の住人である7つの施設を紹介します。



高齢者介護のことなら何でもOK！ 高齢者介護の専門デパート 特別養護老人ホーム めくもりの里 ☎ 0558-76-6700

在宅介護から施設介護まで、高齢者介護のことならすべてに対応している高齢者介護の専門施設。管理栄養士や介護福祉士、看護師をはじめ多職種の専門員により、生活を全面的にサポートします。

栄養はもちろん、色や形にもこだわります。それができるのも直営の良さを生かしているからこそ。
栄養士・調理員
原田さん



笑顔を育むやすらぎの空間 地域活動支援センター サポートセンター絆 相談支援事業所 ☎ 0558-77-1221

障がいを持った人が、自由に気軽に通える場所です。カラオケや習字、料理教室を通じて、交流の場、憩いの場、仲間づくりの場を提供します。



のんびりした雰囲気のところ。一緒に交流してくれるボランティアを募集しています。
相談支援専門員 落合さん



障がい者の生活を支援する機能訓練の場 生活介護事業所 あおばの家 ☎ 0558-76-6702

重度の障がい者をサポートする通所型の生活支援施設です。外部との交流を通じて社会性の習得や、日常生活訓練を主体とした指導や介護により生活能力の自立・維持の支援を行います。



車いすに乗ったまま入浴できる最新の施設は好評です。